

各戦略の検証（重点戦略プロジェクト）

資料2

重点戦略プロジェクト

※「進捗率」は直近実績値の目標値に対する割合（実績値／目標値）

No	プロジェクト	枠組み	数値目標（進捗率※）	主な課題	方向性
1	安心のまち・暮らし「住まいる北海道」プロジェクト	子育て環境 女性等活躍 医療・福祉基盤 移住・定住	合計特殊出生率 1.27（89.4%） <u>A③</u> 同じ市町村に住みたい人の割合 75.8%（99.5%） <u>A③</u>	<ul style="list-style-type: none"> 各般の取組を実施してきたが数値目標の達成には至っていない 様々な政策が絡み合っており、短期的な成果を得にくい 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く継続的に取り組む
2	北のめぐみ「資源・ひと・経済好循環」創出プロジェクト	地域産業 エネルギー 人づくり 自然との共生 地域循環	製造業の付加価値生産性 965万円（75.4%） <u>B</u>	<ul style="list-style-type: none"> 全国に比べ製造業の割合が低く、創業も少ない状況 ものづくり産業における人手不足 若者の海外留学等を支援するための継続的な寄附等の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 各取組の推進状況や課題を整理し、「わかりやすさ」の観点からプロジェクトを再構築
3	未来を拓く「攻めの農・林・水産業」確立プロジェクト	農業競争力強化 林業ブランド化 水産業発展 販路・輸出拡大	道産食品輸出額 774億円（77.4%） <u>B</u>	<ul style="list-style-type: none"> 農業産出額、一人当たり漁業生産額、道産木材の利用量の増加など着実な成果 一次産業における人手不足 道産食品輸出額はH30に過去最高額 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術の活用により労働力不足を補完、生産性向上 課題に対応しながら引き続き取り組む
4	輝く「アジアのHOKKAIDO」創造プロジェクト	HOKKAIDOブランド発信 食の輸出拡大 観光受入体制 国境地域の振興	道産食品輸出額 774億円（77.4%） <u>B</u> 外国人観光客数 279万人（55.8%） <u>B</u>	<ul style="list-style-type: none"> HOKKAIDOブランドの発信、食の輸出拡大、観光受け入れ体制の拡充等着実な成果 より高い目標を設定（道産食品輸出額：1,500億円<R5>、外国人観光客：500万人<R2>※H29に300万人から500万人に見直し） 	<ul style="list-style-type: none"> 海外の活力を取り込むチャンスも活用しながら、北海道らしさを全面に出して取組を加速化 (ウポポイ開設、東京オリンピック・パラリンピック、アドベンチャートラベルワールドサミット2021誘致など)
5	多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト	道内自治体連携 道外都市連携 福祉と産業連携 大学との連携	広域連携地域数 24地域（96.0%） <u>A②</u>	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズの変化や地方分権の進展により、市町村が担う事務権限が増える一方、行財政改革により市町村は厳しい財政状況 小規模市町村では、知識・技術の継承が困難な状況 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の目的に応じた連携を引き続き進める

各戦略の検証（基本戦略）

基本戦略

※「進捗率」は直近実績値の目標値に対する割合（実績値／目標値）

No	基本戦略の柱	数値目標（進捗率※）	主な課題	方向性
1	子どもを生き育てたいという希望をかなえる	合計特殊出生率 1.27（89.4%） <u>A③</u>	<ul style="list-style-type: none"> 未婚率の上昇や子育て世帯の経済的負担感など様々な要因により合計特殊出生率は伸びていない 待機児童ゼロを目指し保育人材の確保 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組の強化 子育てに係る負担軽減 保育人材の確保 <p style="text-align: right;">など</p>
2	住み続けたいと思える生活環境を整える	同じ市町村に住みたい人の割合 75.8%（99.5%） <u>A③</u>	<ul style="list-style-type: none"> 医師の地域偏在が著しく、地域における医師不足が続いている 人口減少により公共交通事業者の経営は厳しい環境 子どもの学力・体力の向上、遠隔授業の実施など、次代を担う子どもの教育のあり方 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医師確保や生活交通の維持 住民協働によるまちづくりの支援 子どもの教育の充実 <p style="text-align: right;">など</p>
3	食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる	道産食品輸出額 774億円（77.4%） <u>B</u> 外国人観光客数 279万人（55.8%） <u>B</u> 製造業の付加価値生産性 965万円（75.4%） <u>B</u>	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業は高齢化や新規就業者の確保に苦慮するなど総じて労働力不足の状況にあり、地域活力低下の懸念 外国人及び道外観光客は誘客活動の結果、順調に推移 大手自動車メーカーが求めるコストや品質等への対応力が不十分 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 担い手確保の取組強化 スマート農業等労働力不足を補完する技術の導入促進 道内ものづくり企業の技術力や生産性の向上 新たな市場開拓や海外展開など企業の販路拡大の取組の活性化 <p style="text-align: right;">など</p>
4	北海道らしさを活かして人を呼び込み、呼び戻す	転出超過数 3,715人（107.7%） <u>A①</u>	<ul style="list-style-type: none"> 転出超過の減少は、外国人の転入超過によるもので、日本人は転出超過の状況 若年者や外国人を含む移住者が地域に定着できる環境整備 アイヌ文化伝承者の高齢化などアイヌ語やアイヌ文化の承継・保存 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住の更なる推進 外国人材の受入拡大・共生に向けた環境整備 アイヌ文化の理解促進 <p style="text-align: right;">など</p>
5	多様性を活かし、北海道らしい連携により地域を形づくる	広域連携地域数 24地域（96.0%） <u>A②</u>	<ul style="list-style-type: none"> 各地域において効率的、効果的な広域連携が図られ、一定の成果 人口減少社会における市町村の行政サービス維持 道内各地域から札幌市への人口流入 札幌市から首都圏への人口流出 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの役割分担のもとでの札幌市と共同の取組 地域の多様な魅力づくりを引き続き進める 道と179市町村のスクラム強化 <p style="text-align: right;">など</p>